

2003 年度 WG 活動成果報告

(2004 年 3 月 30 日作成)

委員会名	換気測定法検討WG	主 査 名：山 中 俊 夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	空気環境小委員会	委員長名：出 口 清 孝
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	住宅をはじめとする様々な建築物における換気性能評価値(換気量、換気効率指標)の測定法について、これまでに提案或いは実用化されている種々の手法を調査し、それぞれの特徴と問題点を明確にすることによって、建物や換気システムの種類に応じた適切な換気測定方法の提案を行うことを目的とする。	
委員構成 (委員名(所属))	入江建久(新潟医療福祉大学), 清田誠良(広島工業大学), 竹林英樹(神戸大学), 榎崎正也(エコ・トータルプランニング), 西岡利晃(大阪市立大学), 西村宏昭(日本建築総合試験所), 新田勝通(京都工芸繊維大学), 橋本頼幸(大阪市立大学), 平石年弘(明石工業高等専門学校), 松下敬幸(神戸大学), 光田恵(大同工業大学), 宮崎竹二(大阪市環境科学研究所), 山田裕巳(積水ハウス), 山中俊夫(大阪大学), 渡辺真志(大和ハウス工業)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	60,000 円	

項 目	自己評価	
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回 WG (5 月 10 日・10 名) 第 3 回 WG (8 月 22 日・11 名) 第 5 回 WG (12 月 11 日・10 名)	第 2 回 WG (6 月 30 日・12 名) 第 4 回 WG (10 月 17 日・12 名) 第 6 回 WG (3 月 3 日・13 名)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>1. 電化厨房の設計法に関する検討: 業務用厨房に関する測定結果をもとに厨房換気の諸問題について議論した。また、電化厨房の換気設計において排気フードの面風速の基準 0.3m/s が採用された経緯、及び換気量 20 回/h の根拠について検討を行った。</p> <p>2. シックハウス症候群に関する調査: シックハウス症候群に関する調査症例が紹介され、このような事例の背景に多くの関連事例が潜在的に存在するののかという点について議論した。</p> <p>3. Ventilation2003 での研究動向について調査</p> <p>4. 建築基準法について: ホルムアルデヒドに関するアカデミックスタンダード(案)と基準法との比較検討を行うとともに、確認審査機関へのアンケートの内容と結果について検討を行った。</p> <p>5. トレーサビリティ(確からしさ)について: 文献調査を行った。</p>	
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初建物や換気システムの種類に応じた適切な換気測定方法の提案を行うことを目的としてスタートしたWGではあるが、その活動目的を厨房換気、室内空気質、換気測定法、建築基準法の換気基準などの調査と検討まで拡張し、五つのグループに分かれて精力的に調査・研究活動を行った。また設計事務所や電力会社の方に随時オブザーバーとして参加していただき、実務の立場からの意見を収集した。今年度は始動期間として数ヶ月を要したが、後半は個別のテーマについて十分な議論を重ねることができた。</p>	
その他評価すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・業務用電化厨房施設の見学会の開催 	